

第 981 回 例 会

6年5月10日

本日のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 樋上 久代 会員 「米山の絆」
ゲストスピーカー 関西米山学友会 会長 頼 香奈依 氏
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 4階「平安の間」
- ・第11回理事会・次年度準備理事会 13:40～ 4階「高砂の間」

次回(5月17日)のプログラム

- ・ソング 「こいのぼり」
- ・卓話 豊島 秀郎 会員
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 4階「平安の間」

5月のお誕生日

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1日 北川 理沙 会員 | 11日 小山田 光正 会員 | 13日 池山 博文 会員 |
| 23日 辻田 知史 会員 | 30日 佐田 幸夫 会員 | |

5月の創立記念日

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1日 大日化成(株) 小林 知義 会員 | 4日 (株)かわかみ 川上 大雄 会員 |
| 11日 三和殖産(株) 中根 三恵子 会員 | 22日 (株)ワイコム 笹倉 光雄 会員 |

先週(4月26日)の例会報告

■会長の時間

皆さま、こんにちは。本日は直近の地区行事、活動のご報告をさせていただきます。

まず、4月13日、IM5組ロータリーデーが開催されました。今年は、大阪船場RCさんがホストクラブでして、例年ですと基調講演を外部から講演者を呼ぶことが多いのですが、今回は大阪船場RCの澤田会員による講演でございました。

講演テーマ「国際奉仕活動と青少年育成」ですが、歯科医師である、澤田会員は、バヌアツとフィリピンで歯科医療奉仕活動を41年間に渡り継続されており、現地の歯科医療奉仕に加えて、心に問題を抱えている子供たちが、医療環境の整っていない現地での奉仕活動に参加することで、大自然の中で現地の人たちの生活に触れ、徐々に心の扉を開いていく過程について、お話をいただきました。

またその後、フレッシュロータリアン研修交流会が開催され、当クラブからは入会5年未満のロータリアン7名、先輩ロータリアン3名、合計10名にて参加いたしました。四宮パストガバナーのご講演の後、各テーブルにおいて、お酒を酌み交わしながらの懇親会とテーブルミーティングでした。講演の感想やロータリー活動の疑問や悩みなどを相談するという形式で、活発に意見交換が行われ、大変盛り上がった様子でした。他クラブのロータリアンと話をする機会がないフレッシュロータリアンもいると思いますので、とても良い刺激になったのではないのでしょうか。

また、ウクライナ人道支援チャリティーゴルフコンペの件ですが、クラブとして多額のご寄付をいただいた3クラブ、大阪西北RC様、大阪堂島RC様、大阪淀川RC様にお礼とご報告で例会に参加して参りました。中根さん、樋上さん、三宅さん、林幹事、例会ご参加いただきありがとうございました。これで概ね完了といったところですが、あとはウクライナ大使館から子供支援施設及び支援団体の返事が届けば、支援金を振り込み、すべて完了となります。

また大使館から連絡がありましたら、報告させていただきます。よろしくお願いたします。

【来客紹介】 6名

【出席報告】

6年4月26日(第980回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
37名	0名	25名	12名	67.57%

【幹事報告】

【メールBOXに配布】 配布資料はありません

【メール送信】 1)次年度地区主要行事日程表 ⇒ 4/24 次年度役員・委員長へ配信

【回覧資料】 1)例会出欠表(5～6月) 2)台湾東部地震支援金募金箱(4/12募金額 ¥14,000)

ニコニコ箱(4月26日)

名村 美紀(東大阪中央RC) = 初めて例会に参加させて頂きました。本日は宜しく願い致します。

朝香 光雅(高槻東RC) = 中根先輩をはじめユニバーサルシティRCのみなさん、貴重な時間を頂き、ありがとうございます。

瀧井 齊(高槻東RC) = 本日は例会に出席させて頂き、ありがとうございます。また例会後にお忙しい中お時間を割いて頂き、お話を伺わせて頂くことに感謝しております。

高木 大介(高槻東RC) = 本日は例会に参加させて頂き、誠にありがとうございます。特に中根さん、佐田会長には、地区委員会にて大変お世話になりました。ありがとうございました。

徳上 洋之(大阪ハーサイドRC) = ウクライナチャリティゴルフコンペ、みなさまに大変お世話になりました。ありがとうございました。

井上 匡 = 先日のロータリーデー、フレッシュロータリアン研修交流会に参加させて頂きました。勉強になりました。

川上 大雄 = 明日からゴールデンウィーク、どこ行きますか？

小林 知義 = 明日から連休が始まります。妻はヨーロッパですが、私はお留守番です。メンバーコースの伏尾に2回程ゴルフには行きます。

三宅 一郎 = 本日は大勢のご来客で緊張してます。大橋さん、卓話 たのしみです。

中井 周治 = 大橋さん、卓話 楽しみにしています。

中根三恵子 = たくさんの方のビジターの皆様、ようこそお越し頂きました。楽しんでいって下さいね。大橋さん 卓話 がんばって下さい。

大橋 高志 = 卓話当番。本日の卓話、よろしく願いいたします。ゲストの皆様、本日はようこそお越し下さいました。

ごゆっくりなさって下さい。

大屋 準一 = 毎日の楽しみはドジャース大谷選手と山本選手の活躍ですが、本日 山本投手は2勝目の勝利です。

大橋さんの卓話を楽しみにしています。

斎藤 清貴 = 本日は商用で早目に退出させて頂きます。

辻田 知史 = 今週は初の鎌倉へグルメ旅してきました。京都、和久傳を出られた方がコロナ前くらいに独立オープンされたお店 鎌倉北じまに行って来ました。最高に美味しいお料理ときれいなお庭など、堪能して来ました。(中略) 鎌倉見物して東京に立ち寄り帰京、少し疲れました。本日はたくさんのご来客ありがとうございます。ごゆっくりなさって下さいませ。

【SAA報告】

ニコニコ箱

本日計 40000円

今年度合計 428000円

卓話(4月26日)

「日本のドラッカー！？」二宮金次郎の世界 大橋 高志 会員

二宮金次郎は、天明7年(1787年)に現在の小田原市栢山に生まれ、安政三年(1856年)現在の栃木県日光市今市で亡くなりました。二宮金次郎というと、多くの小学校の校庭に、薪を背負って、本を読みながら歩いている像があり、少年時代の金次郎については、知っている人も多いと思います。しかし、生涯にどのようなことをし、どのようなことを人々に伝えたのかを詳しく知る人は少ないと思います。

大人になった二宮金次郎は、生涯を世のため、人のために捧げ、各地の財政や農村の立て直しに力を尽くしました。こうして農村が経済的にも困っていた時代に復興事業を手掛けた村々は600以上になります。そして、多くの藩や農村を貧しい生活から救い、その優れた思想と実践で人々の幸せを追求し続けた、世界にも誇れる人です。600以上の村を復興させた金次郎には、経営改善、組織改革を成し遂げる強いリーダーシップがありました。また、シンプルですが、力強い言葉を遺しています。例えば、大きなことは本来、小さなことの積み重ねであり、小さいことを疎かにする者は大きなことなど成せるわけがない、小さなことを怠らず積む努力をしなければならぬという『積小為大』、世の中には対立するものなどない。敵も味方も、善も悪も、みな一つの円の中に入れて観ることだ。「一元」となったときに初めて、成果が生み出されるという『一元融合』などの言葉です。

また、ビジネスアイデアに満ちた、知恵と工夫の人でもあった金次郎の仕事術は、現代のビジネスパーソンにおいてもヒントになるものがあります。「分度」で数値を「見える化」したり、チームビルディングにおいて、1人ひとりのやる気を引き出すような方策をとったり、徹底した現地調査とデータ主義は、当時としてはありえない画期的なことだったといわれています。

金次郎亡き後、金次郎の「報徳思想」は日本の経営の源流として、多くの経営者・実業家の事業経営に影響を与え続けています。例えば、晩年に金次郎を高く評価していたピーター・F・ドラッカーは、金次郎の報徳仕法を基礎とした大学の最高顧問になる予定でした。「先進国や社会主義国にも適応できる思想だ」と高く評価し、英語文献を根こそぎ送ってほしいと要望していたといわれています。「経営の神様」また「昭和の二宮尊徳」としても知られている松下幸之助は、その経営哲学は二宮金次郎の報徳思想から多くの影響を受け、社内外で訓話として、しばしば金次郎の話をしたといわれています。二宮金次郎の思想や実践は、160年以上経過した今日でも、いや、このような難しい時代こそ、多くの学ぶべきものがあると思います。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mail: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか